



平成17年3月期 第3四半期財務・業績の概況（連結）

平成17年1月31日

上場会社名 タカノ株式会社

（コード番号：7885 東証第1部）

（URL <http://www.takano-net.co.jp/>）

問合せ先 代表者役職・氏名 代表取締役社長 鷹野 準 TEL：(0265) 85－3150
責任者役職・氏名 常務取締役 野溝 郁文

1. 四半期財務情報の作成等に係る事項

- ① 会計処理の方法における簡便な方法の採用の有無 : 有
（内容）
1. 棚卸資産に関して、実地棚卸を行わず、帳簿棚卸によっております。
2. 税金費用に関して、法人税等の計上基準は法定実効税率をベースとした年間予測税率により計算しております。
3. その他影響額が僅少なもののにつき、一部簡便的な手続を用いております。
- ② 最近連結会計年度からの会計処理の方法の変更の有無 : 無
- ③ 連結及び持分法の適用範囲の異動の有無 : 無

2. 平成17年3月期第3四半期財務・業績の概況（平成16年4月1日～平成16年12月31日）

(1) 経営成績（連結）の進捗状況

（注）記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

	売上高		営業利益		経常利益		四半期（当期）純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円 %
17年3月期第3四半期	18,244	38.5	1,630	208.5	1,669	211.1	1,145 241.4
16年3月期第3四半期	13,172	—	528	—	536	—	335 —
（参考）16年3月期	20,793		1,330		1,334		871

	1株当たり四半期（当期）純利益		潜在株式調整後1株当たり四半期（当期）純利益	
	円	銭	円	銭
17年3月期第3四半期	73	94	—	—
16年3月期第3四半期	21	77	—	—
（参考）16年3月期	56	23	—	—

- （注）1. 売上高、営業利益等におけるパーセント表示は、対前年同四半期増減率を示しております。
2. 四半期業績の開示については、前第1四半期より実施しておりますので、前第3四半期における対前年同期比増減率の記載はしていません。
3. 期中平均株式数
17年3月期第3四半期 15,495,693株 16年3月期第3四半期 15,420,000株
16年3月期 15,420,000株

〔経営成績（連結）の進捗状況に関する定性的情報等〕

当第3四半期（9ヶ月）におけるわが国経済は、企業収益の改善による設備投資の増加に牽引され、景気は回復基調に推移してきたものの、個人消費の伸び悩み、情報家電分野の在庫調整、原油・原材料価格の上昇等により昨年末頃より景気は弱含みで推移するなど景気回復に向けてはなお不透明な状況が続いております。

当社グループの主力製品が関係するオフィス家具業界におきましては、企業収益の改善の影響から、昨年4月から11月までの8ヶ月間におけるオフィス椅子国内統計での全国事務用回転椅子販売は前年同期比数量で10.3%増、金額で9.1%増となるなど需要は拡大基調にあるものの、海外からの安価な製品流入による競争激化、材料価格の高騰などにより、オフィス家具業界は引き続き厳しい状況で推移しました。

また、当社グループのもう一つの主力製品である画像処理検査装置が関係する液晶をはじめとするFPD（フラット・パネル・ディスプレイ）製造装置業界におきましては、昨年夏以降、韓国及び台湾における液晶パネルメーカーの製造設備投資の前倒し等に起因する需給の悪化にともなう液晶パネル価格の下落を受け、一部台湾液晶パネルメーカーが減産・設備投資延期を実施しました。この液晶パネル価格下落にともなう液晶製造設備投資の先行きに対する不安懸念はあるものの、液晶パネルメーカー・液晶カラーフィルターメーカーにおける第6世代及び第7世代液晶パネル製造設備に対する投資意欲はなお旺盛であり、業界における事業環境は堅調に推移いたしました。

当社グループはこのような環境のもと、「OEM事業と自販事業のバランスのとれた利益の成長」を果たす

ため、OEM事業の思い切った合理化による収益力の向上と新規取引先の開拓、自販事業である画像処理検査装置分野での競争力拡大を目的とした研究開発活動の積極化、生産工程の改善等による生産能力の向上、第7世代大型液晶基板向け検査装置および液晶・PDP（プラズマ・ディスプレイ・パネル）以外の次世代FPD向け検査装置開発に取り組んでまいりました。

この結果、当第3四半期は概ね計画に沿った業績の進捗であり、売上高 18,244 百万円(前年同四半期比 38.5%増)、営業利益 1,630 百万円(前年同四半期比 208.5%増)、経常利益 1,669 百万円(前年同四半期比 211.1%増)、四半期純利益は 1,145 百万円(前年同四半期比 241.4%増)となりました。

(参考1) 連結セグメント別売上高の概況

(単位：百万円、%)

	当第3四半期 自平成16年4月1日 至平成16年12月31日		前第3四半期 自平成15年4月1日 至平成15年12月31日		前連結会計年度 自平成15年4月1日 至平成16年3月31日	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	構成比
OEM事業	6,985	38.3	7,081	53.8	11,364	54.6
エレクトロニクス関連事業	10,354	56.7	5,362	40.7	8,288	39.9
その他の事業	904	5.0	729	5.5	1,140	5.5
合計	18,244	100.0	13,172	100.0	20,793	100.0

(参考2) 当社単独品目別売上高の概況

(単位：百万円、%)

	当第3四半期 自平成16年4月1日 至平成16年12月31日		前第3四半期 自平成15年4月1日 至平成15年12月31日		前連結会計年度 自平成15年4月1日 至平成16年3月31日	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	構成比
オフィス家具	5,364	30.9	5,369	43.1	9,016	45.9
ユニット(ばね)	912	5.3	941	7.6	1,261	6.4
エクステリア	292	1.7	412	3.3	528	2.7
エレクトロニクス関連	10,358	59.7	5,364	43.1	8,295	42.2
健康福祉機器等	419	2.4	359	2.9	559	2.8
合計	17,346	100.0	12,446	100.0	19,661	100.0

(参考3) 四半期個別経営成績の概況(平成16年4月1日～平成16年12月31日)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期(当期) 純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
17年3月期第3四半期	17,346	39.4	1,305	201.9	1,351	201.3	880	208.2
16年3月期第3四半期	12,446	—	432	—	448	—	285	—
(参考)16年3月期	19,661	—	1,128	—	1,145	—	717	—

(注) 四半期業績の開示については、前第1四半期より実施しておりますので、前第3四半期における対前年同期比増減率の記載はしていません。

(2) 財政状態(連結)の変動状況

	総資産	株主資本	株主資本比率	1株当たり 株主資本
	百万円	百万円	%	円 銭
17年3月期第3四半期	33,646	25,211	74.9	1,603 80
16年3月期第3四半期	—	—	—	— —
(参考)16年3月期	32,300	23,930	74.1	1,551 61

(注)1. 四半期財政状態の開示については、当第1四半期より実施しておりますので、前年第3四半期の実績は記載していません。

2. 期末発行済株式数 17年3月期第3四半期 15,719,800 株 16年3月期 15,420,000 株

[財政状態(連結)の変動状況に関する定性的情報等]

当四半期末における総資産は、33,646 百万円となり、前連結会計年度末に比べ 1,345 百万円増加しました。株主資本は 25,211 百万円となり、前連結会計年度末に比べ 1,280 百万円増加したため、株主資本比率は 74.9%と 0.8 ポイント改善しました。

資産の部については、受取手形及び売掛金が若干減少した一方、現金及び預金、棚卸資産が増加したこと

等により、前連結会計年度末に比べ1,299百万円増加し、流動資産は21,459百万円となりました。固定資産は当第3四半期（9ヶ月）における減価償却により減少した一方、画像処理検査装置製造工場建設により前連結会計年度末に比べわずかに増加し、固定資産合計は12,186百万円となりました。

負債の部については、主に支払手形及び買掛金が156百万円増加したこと等により負債合計は前連結会計年度末に比べわずかに増加し、8,435百万円となりました。

資本の部については、当四半期に実施した自己株式の処分にともない自己株式処分差益198百万円を資本剰余金に計上するとともに、自己株式が251百万円減少したこと等により、前連結会計年度末に比べ1,280百万円増加し、株主資本は25,211百万円となりました。

3. 平成17年3月期の連結業績予想（平成16年4月1日～平成17年3月31日）

	売 上 高	経 常 利 益	当期純利益
	百万円	百万円	百万円
通 期	25,000	2,250	1,480

1株当たり予想当期純利益（通期） 94円87銭

（注）1株当たり予想当期純利益（通期）は当該期間の予想期中平均株式数15,550,952株に基づき算出しております。

〔業績予想に関する定性的情報等〕

今後は、設備投資の増加傾向も一服するとともに、個人消費の回復も鈍化傾向にあるなど国内景気の先行きは弱含みの状況で推移するものと考えられます。

当社グループに関連するオフィス家具業界においては、首都圏大型オフィスビル着工にともなう2次移転需要に加え、地方における景況感の改善から地方主要都市におけるオフィス家具需要が見込まれるなど、需要は底離れが予測されております。また、画像処理検査装置に関連する業界においては、液晶パネル価格は下落傾向にあるものの、液晶価格の下落により新たな需要が喚起される側面もあり、液晶製造設備投資は引き続き堅調に推移するものと考えられます。

このような状況のもと、当社グループは引き続き、OEM事業においては世界に誇れるレベルの商品を市場に提供するための商品開発力のさらなる強化、新規取引先の開拓および経営効率の向上を図るための思い切った合理化に注力するとともに、画像処理検査装置などのエレクトロニクス関連事業においては、受注変動に対応した生産体制の構築および新市場への参入を果たすべく、様々な新技術開発に注力することによって事業基盤のさらなる拡充を図ってまいります。

なお、OEM事業の主力製品であるオフィス椅子の需要は季節性を有しており、例年第4四半期が最需要期となっております。また、エレクトロニクス関連事業画像処理検査装置の需要はFPD（フラットパネルディスプレイ）関連メーカーの設備投資時期による変動があります。

以上の見通しにより通期の業績予想につきましては、連結業績、単独業績とも平成16年11月12日の中間決算発表時に公表した予想に修正はございません。

（参考4）平成17年3月期の個別業績予想（平成16年4月1日～平成17年3月31日）

	売 上 高	経 常 利 益	当期純利益	1株当たり年間予想配当金	
	百万円	百万円	百万円	期 末	
	円 銭			円 銭	円 銭
通 期	24,000	1,930	1,200	17.00	17.00

1株当たり予想当期純利益（通期） 76円86銭

（注）1株当たり予想当期純利益（通期）は当該期間の予想期中平均株式数15,550,952株株に基づき算出しております。

※業績予想につきましては、現時点で入手可能な情報に基づき当社で判断したものであります。予想には様々な不確定要素が内在しており、実際の業績はこれらの予想数値と異なる場合がありますので、この業績予想に全面的に依拠して投資等の判断を行うことはお差し控えください。

以 上

○添付資料

- 1.（要約）四半期連結貸借対照表
- 2.（要約）四半期連結損益計算書
- 3.生産・受注・販売の状況

1. (要約) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円未満切捨、%)

	当第3四半期会計期間末 (平成16年12月31日)		前連結会計年度の 要約連結貸借対照表 (平成16年3月31日)	
	金 額	構成比	金 額	構成比
(資産の部)				
I 流動資産				
1. 現金及び預金	8,095,398		7,052,386	
2. 受取手形及び売掛金	9,196,708		9,895,577	
3. 有価証券	328,812		133,507	
4. 棚卸資産	3,352,299		2,673,308	
5. 繰延税金資産	204,480		187,860	
6. その他	290,711		226,351	
7. 貸倒引当金	△8,516		△8,914	
流動資産合計	21,459,894	63.8	20,160,079	62.4
II 固定資産				
(1) 有形固定資産				
1. 建物及び構築物	2,015,807		1,842,335	
2. 機械装置及び運搬具	976,687		1,043,333	
3. 土地	4,599,352		4,599,352	
4. その他	359,371		350,243	
有形固定資産合計	7,951,219	23.6	7,835,264	24.2
(2) 無形固定資産	76,528	0.2	87,392	0.3
(3) 投資その他の資産				
1. 投資有価証券	3,842,808		3,892,011	
2. 繰延税金資産	251,818		260,180	
3. その他	66,170		67,613	
4. 貸倒引当金	△1,626		△1,589	
投資その他の資産合計	4,159,171	12.4	4,218,216	13.1
固定資産合計	12,186,919	36.2	12,140,873	37.6
資産合計	33,646,814	100.0	32,300,952	100.0

	当第3四半期会計期間末 (平成16年12月31日)		前連結会計年度の 要約連結貸借対照表 (平成16年3月31日)	
	金 額	構成比	金 額	構成比
(負債の部)				
I 流動負債				
1. 支払手形及び買掛金	5,782,487		5,625,941	
2. 未払法人税等	342,455		367,502	
3. 賞与引当金	356,536		337,984	
4. その他	967,516		839,312	
流動負債合計	7,448,997	22.2	7,170,741	22.2
II 固定負債				
1. 長期借入金	280,500		375,000	
2. 退職給付引当金	609,738		732,814	
3. 役員退職慰労引当金	96,170		91,870	
固定負債合計	986,408	2.9	1,199,684	3.7
負債合計	8,435,405	25.1	8,370,425	25.9
(少数株主持分)				
少数株主持分	—	—	—	—
(資本の部)				
I 資本金	2,015,900	6.0	2,015,900	6.2
II 資本剰余金	2,355,417	7.0	2,157,140	6.7
III 利益剰余金	20,756,137	61.7	19,923,970	61.7
IV その他有価証券評価差額金	84,961	0.2	86,365	0.3
V 自己株式	△1,008	△0.0	△252,850	△0.8
資本合計	25,211,408	74.9	23,930,526	74.1
負債、少数株主持分及び資本合計	33,646,814	100.0	32,300,952	100.0

2. (要約) 四半期連結損益計算書

(単位：千円未満切捨、%)

	当第3四半期会計期間		前第3四半期会計期間		前連結会計年度の 要約連結損益計算書	
	自平成16年4月1日 至平成16年12月31日	金 額	自平成15年4月1日 至平成15年12月31日	金 額	自平成15年4月1日 至平成16年3月31日	金 額
I 売上高	18,244,410	100.0	13,172,678	100.0	20,793,953	100.0
II 売上原価	14,017,859	76.8	10,644,232	80.8	16,712,826	80.4
売上総利益	4,226,551	23.2	2,528,445	19.2	4,081,126	19.6
III 販売費及び一般管理費	2,595,633	14.2	1,999,742	15.2	2,750,545	13.2
営業利益	1,630,918	9.0	528,703	4.0	1,330,581	6.4
IV 営業外収益	54,927	0.3	47,458	0.4	61,788	0.3
V 営業外費用	16,694	0.2	39,575	0.3	57,395	0.3
経常利益	1,669,151	9.1	536,585	4.1	1,334,974	6.4
VI 特別利益	65,671	0.4	55,180	0.4	103,960	0.5
VII 特別損失	12,447	0.1	15,500	0.1	89,852	0.4
税金等調整前第3四半期(当期)純利益	1,722,375	9.4	576,265	4.4	1,349,082	6.5
税金費用	576,608	3.1	240,622	1.9	477,254	2.3
第3四半期(当期)純利益	1,145,767	6.3	335,643	2.5	871,827	4.2

3. 生産、受注、販売の状況

(1) 生産実績

当連結第3四半期の生産実績を事業の種類別セグメントごとに示すと、次のとおりであります。

事業の種類別セグメントの名称	当第3四半期会計期間 (自 平成16年4月1日 至 平成16年12月31日)	前年同四半期比 (%)
OEM事業 (千円)	6,810,163	—
エレクトロニクス関連事業 (千円)	10,548,709	—
その他の事業 (千円)	326,015	—
合計 (千円)	17,684,889	—

(注) 1.金額は販売価格によっており、消費税等は含まれておりません。

2.四半期生産実績の開示については、当第1四半期より実施しておりますので、前年同四半期比の記載はしていません。

(2) 受注状況

当連結第3四半期の受注状況を事業の種類別セグメントごとに示すと、次のとおりであります。

事業の種類別セグメントの名称	受注高 (千円)	前年同四半期比 (%)	受注残高 (千円)	前年同四半期比 (%)
OEM事業	6,956,527	—	906,318	—
エレクトロニクス関連事業	8,748,779	—	7,389,401	—
その他の事業	801,515	—	30,000	—
合計	16,506,822	—	8,325,719	—

(注) 1.消費税等は含まれておりません。

2.四半期受注状況の開示については、当第1四半期より実施しておりますので、前年同四半期比の記載はしていません。

(3) 販売実績

当連結第3四半期の販売実績を事業の種類別セグメントごとに示すと、次のとおりであります。

事業の種類別セグメントの名称	当第3四半期会計期間 (自 平成16年4月1日 至 平成16年12月31日)	前年同四半期比 (%)
OEM事業 (千円)	6,985,104	—
エレクトロニクス関連事業 (千円)	10,354,960	—
その他の事業 (千円)	904,345	—
合計 (千円)	18,244,410	—

(注) 1.消費税等は含まれておりません。

2.四半期販売実績の開示については、当第1四半期より実施しておりますので、前年同四半期比の記載はしていません。